

カンダにご縁のあった方にお届けします！

第8号

発行日：2008.7

酢豚に「パイーン」



初めてのお披露目です

この記事は、営業部の「中野 孝行」が担当しました。
◆サイクリングにはいい季節ですね。さあ、練習 練習？

今年6月に大阪で初めての
関西ラーメン産業展2008が開催され、弊社も参加出展させていただきました。

関東では今年10月で3回目になるラーメン産業展ですが
関西は初！
関西のラーメン文化はどうか？手探りでの出展です。

ふたを開けてみれば3日間で約16000名の来場者。
熱気ムンムン、盛況のうちに閉会でした。

ここで弊社1押の商品「**豚骨スープ速成機**」をご案内させていただきます。
豚骨スープを作る上で一番大変なのは骨を砕いて髓を出す手間と煮込む時間、5時間～10時間かけて作るのは当然

り前の作業を、**人手を使わず、約半分**の時間でできる画期的な機械です。



興味をお持ちの時、お客様からお問い合わせがあった時など、ぜひご連絡下さい。
資料も準備してあります。

次回は、10月に横浜にて開催されますので、お時間あればどうぞお越し下さいませ。

社員紹介



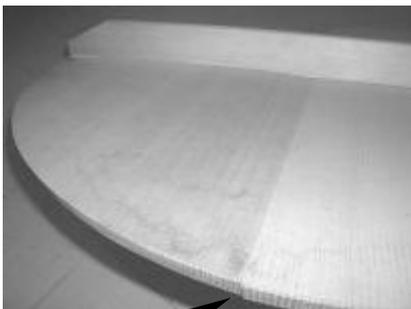
こんにちは、営業の石塚と申します。
営業地区は大阪・四国・北陸を担当しております。
出張での楽しみは美味しいものを食べる事ですが、ふと気付くと体形が変わり、最近メタボリックとよく耳にする機会が増え気にしはじめましたが止められず、お酒のほうも暑くなりビールが美味しく感じられアルコールの量と体重も増え苦笑い。
休日前は、お酒を飲みながら洋画（DVD）を見る事が好きで、何年か前に流行った韓流ドラマ 冬のソナタ をあるもので知った事で今更ではないですがDVDを借りて観ましたら、涙を流しているチェ・ジウを見たらファンになりました。
人の心を動かせるイチ・ニイ・シャ〜ンではなく、ヨンさんのようにと思いき感動しました。



一度使ったらこわれたよ・・・

この記事は、営業部の「南波 仁」が担当しました。
◆「こんな話が知りたいな」ということがあったらお申し付け下さい。

今回は、スプルス材の木蓋が割れてしまう事例をお話いたします。



矢印の部分、接着剤で貼り付けたところがスパッと真っ二つ。

けっこう言われるんですよ、これ。

新品などの場合、わりとカラカラに乾いた状態になっていますが、これをそのまま急激な高温にさらすとこうなりやすいです。

では、どうしたら良いか？
最初に水洗いをして、ひとまず日陰に置いて水分をなじませてから使用する。
たったこれだけのことで、ぜんぜん違いますよ。
ついでに言えば、サワラ製木蓋の方がこうなりやすいですよ。
こまかい理屈は抜きにして、参考になれば幸いです。

株式会社 **カンダ**
KANKUMA

〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
TEL:0256-63-4541 (代表)
FAX:0256-64-2960
e-mail:kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/



29番目か～！

この記事は、営業部の「齋藤 一路」が担当しました。
◆この写真は、あなたの知ってる齋藤一路で間違いありません。

うわ～出遅れたあ！29番目か～！

5月31日現在時刻午前3時30分。
まだ夜の明けない風雨の中、先頭から数え29番目。
開場まであと5時間。
あ～やっぱりもっと早く出発すればよかったなあ～と、思いつつひとりAMラジオを聴きながらコンビニで買い込んだおやつを食べて、ちょっと遠足気分を味わっている。
しかしそんな気分も長くは続かず、辺りも明るくなり始めた午前4時。今日は2時間しか寝てなかったので、狭く少し寒さを感じるトラックの中で仮眠をとることにした。

前夜、会社帰りにトラックを借り、よ～し家に帰って積み込みだ～っと、気合を入れて帰宅。
夕食を食べ、子供とお風呂に入り、なんだかんだで積み込み終了時刻AM1時。
えっ！ところで何を積んだのかって？・・・
じつは、新潟市某クリーンセンター6月1日より“有料化”になる前に処分したかった金庫、タンス、ふとん、衣類、その他この日のために集めた1.5tトラック山盛りの“家庭ごみ”でした。

さて、浅い眠りから覚めるとすっかり夜も明けており、外の様子を見て驚愕。なっなんと、自分の後ろに最後尾の車が小さく見えるほどの長～い車の列、100台はある。
数日前、全国ニュースになりごみ捨てにだいたい4～5時間待ちというのも納得。しかも今日は“無料”最終日。



そしてAM8時30分、待ちに待った開場。少しずつ車が動き出す、AM9時30分ついに自分の番、受付をし係員の誘導で指定の場所に降りし始め予想より早いAM10時前に終了。

なんか終わってみればあっけない感じでしたがいい話のネタになったかなと思いつつ、いながらまだまだ続く長い列を横目に帰るのでありました。
PS後日、祖父の残した掛軸が金庫の中にあったことを思い出し、どうか価値の“ない”物であってほしいと願う今日この頃です。



ビジネスマナー・「お迎えとお見送り」

この記事は、業務部の「奥村 耕一」が担当しました。
◆客の目は 正面以外を よく見る

今回のテーマは
「お客様のお迎えとお見送り」です。

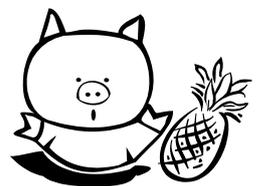
もしあなたが商談や見学などで来社していただいたお客様を接待する場合、どんなことに気をつけていますか？
自然な笑顔？背筋を伸ばした姿勢？心を込めた「いらっしゃいませ」？

しかし、お客様のお迎えとお見送りにおいて一番気をつけなければならないのは、接待したあなた自身ではなく、お客様の視界に入る社員全員の態度なのです。あなたが誠意を持ってお迎えの挨拶をしているとき、周囲の動きはどうなっていますか。

自分の仕事に没頭するあまり、「いらっしゃいませ」を言わなかったり、お客様を前に「自分の接待する相手じゃないから」と知らんぷりを決め込んでいる人はいませんか？そういう態度こそお客

様の目には留まるものです。
お客様の会社に対する第一印象は、会社に足を一步踏み入れた瞬間の全社員の対応で決まることも少なくありません。
社員ひとりひとりが気持ちの込められた「いらっしゃいませ」を言うことで、商談成立に追い風を吹かせるのです。

お客様にしてみれば、敵陣に一人で乗り込んでくるようなものです。その緊張感をほぐし、リラックスした状態で商談に臨んでもらうためにも、お客様が来社された時とお帰りになる時には、社内全体を見ていることを忘れずに、誠心誠意であいさつをしましょう。



酢豚に「パイナップル」

カンダにご縁のあった方にお届けします！



株式会社カンダ
〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL: 0256-63-4541 (代表)
FAX: 0256-64-2960
e-mail: kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>